

令和3年度 第2次募集の選抜・評価方法（案）

学校番号 定9

千葉県立佐倉東高等学校 定時制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	受検者1名・評価者3名の個人面接 検査時間：1名15分
(3) 作文	字数：600字以内 検査時間：50分

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。
イ 出欠の記録	3か年無欠席である場合は総合的に判定する際の参考とする。 1、2年において欠席合計が50日以上、または、1か年で欠席が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	〇が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動、資格・特技等で優れている点があれば総合的に判定する際の参考とする。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(2) 面接

3名の評価者が、次の5つの評価項目についてA（極めて優れている）・B（優れている）・C（標準的である）・D（やや問題がある）・E（問題がある）の5段階で評価し、選抜の資料として重視する。

評価項目	評価基準
ア 志願の動機	志願の動機が明確である。
イ 言葉遣い	言葉遣いが明瞭で丁寧である。
ウ 態度等	面接の基本作法等ができている。
エ 学習意欲	学習に意欲的に取り組もうとしている。
オ 勤労意欲	仕事に意欲的に取り組もうとしている。

(3) 作文

2名の評価者が、次の3つの評価項目についてA（極めて優れている）・B（優れている）・C（標準的である）・D（やや問題がある）・E（問題がある）の5段階で評価する。

評価項目	評価基準
ア 内容	作文題を的確にとらえた文章になっている。意見・理由・説明が具体的で適切である。
イ 構成	文章の構成が分かりやすく論理的である。各段落に内容的なまとまりがある。
ウ 表現・表記	文章表現が適切である。文字・単語の表記が適正である。字数・語数が適正である。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

中学校の校長から送付された調査書、面接及び作文の結果を資料とし、総合的に判定して選抜を行う。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。